

日光国立公園（那須甲子・塩原地域）の公園計画の変更について

1. 変更の理由

日光国立公園は昭和9（1934）年12月4日に指定された、わが国最初の国立公園の一つである。当初、指定区域は日光、尾瀬および奥鬼怒地域であったが、昭和25（1950）年9月2日に区域が拡張され、那須、甲子、塩原、藤原、栗山及び足尾地区が加えられ、概ね現在の形が作られた。

那須甲子・塩原地域については、社会条件の変化に対応するため、昭和60（1985）年9月5日に本地域の全般的な見直し（再検討）が行われ、その後平成4（1992）年7月14日に第1次点検、平成11（1999）年7月30日に第2次点検を実施し、現在に至っている。

今回は、前回の点検後6年以上が経過しているため、公園計画の点検（第3次点検）を行う。

2. 変更案の概要

利用施設計画の変更（歩道の変更）

赤松林遊歩道線を延長する。

